

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ あずさライフ総合保険 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認定があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別・年齢など差別がないよう、半年に1回職場環境の見直しを行っている。また、教育、研修、福利厚生などの差別がないよう、社長が年1回労働条件の見直しを行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、従業員へ徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法等の改正内容を含め社長及び従業員が共有している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者に対する差別、外国人労働者への差別・人権侵害防止に関する社員研修を実施している。			4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			労働安全セミナーを開催し社員教育を徹底している。		3						8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルス対策として、柔軟な勤務体系をとれる環境を整備している。		3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性・高齢者の雇用を積極的に行っている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			積極的にメーカーの研修に参加出来るよう推進している			4	5.5				8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働者派遣法等に則り対応している				5.5				8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			年1回の定期健康診断の実施と有給休暇の取得を推進し、健康状態の把握と心身の疲労回復に努めている。		3						8									
11		環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			職場の環境整備の一環として、廃棄物の分別と適切な処理に取り組んでいる。										11.6	12	14.1				
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			事務所の電気使用量、社用車のガソリン使用量を把握し排出されるCO2の量を把握している。							7.3					13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			不燃な照明の調光を徹底し、ガソリン使用量を抑えるよう毎月社内にてガソリン使用量を共有している。							7.2 7.3					12.4	13.3			
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			従業員へ法令等の周知を行っている。		3.9					6.3				11.6	12.4				

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証書があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した製品を使用している。						6.6											15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			再生紙やリサイクルペーパーなどなるべく推奨製品を購入する(予定)資源物の分別を徹底していく。												13			14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水の使用量を把握し節水に取り組み、節水型のトイレ等の改修を検討していく。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	今後取得を検討していく。			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			自社ブログにて環境の取り組みについて広く公開している。													12.6					
20	公正な事業慣行	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	今後太陽光利用を検討していく。						7.2								13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		取り扱っていない。												12.2	13	14	15			
22		【汚染・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			関係会社がダイオキシン・コンプラアランスに則り、絶対に汚職や贈収賄が発生しないよう厳重に取り組んでいる。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			関係会社のガイドライン・不正競争防止法に則り、絶対に不正な販路が行われないよう社員に徹底している。																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産の侵害行為とならないため、関係会社に確認依頼しダブルチェックを行っている。								8.2 8.3	9									
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報情報を適切に管理している	基本			データベースの情報は厳格なセキュリティポリシーに準拠し、データが外に漏れないようになっている。P.O.メールは利用ルールを設定している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		取り扱っていない。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			関係会社や取引先との対話を通じ、人権侵害の防止や倫理面の適切な対応について認識を共有している。				5				8	10			12	13	14	15	16	17	
28	公正な事業慣行	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本		【予定】	現在作成中。R8.2までに登録公表する予定。				3				8	9	10							17	

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (鳥などの取得証拠があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			保険会社の認定を毎年受けている。				3.9								12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			お客様の声を全員で共有し、業務品質・サービス向上への取り組みを実施している。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		取り扱っていない。					6							12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			保険会社のボランティアリーダーを積極的に提案し、自動車事故発生時に活用している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			保険商品提供を通じて安心安全な地域社会づくりへの貢献に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域イベントへの寄付や参加を積極的に行っている。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ			地元企業の商品やサービスを積極的に利用している。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本			経営計画書を毎年作成し、理念・目標を社員で共有している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			社内規程を整備し、コンプライアンス経営責任者および責任者を任命し、必要な管理を実施している。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			役員・従業員の役割を明確にして、体制を整備している。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会）	基本			日々業務を通じ、各関係者との対話・関係強化に努めている。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			リスクでの経営変革、顧客増強を促進し、原価削減と業績拡大につき検討実施している。																16	
41	【CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「今後の正しい考え方を世帯利用者に積極的に広げ、事業を通じて安心・満足・感謝してもらうよう取り組んでいる。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			BCP計画を策定している。									9		11	13	13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			後継者の検討をすすめている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、徳川豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目については、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は赤字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
- ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定